

2-1 仮説構築力	<p>1. 探究的な学習の過程において、あなたは以下の項目についてどれぐらいできていますか。もっとも近い選択肢を1つ選んでください。</p> <p>(1. できていない 2. あまりできていない 3. どちらともいえない 4. まあまあできている 5. よくてきている)</p> <p>(1) 現時点で何が問題となっているのかを際ほど把握する</p> <p>(2) 活動に入る前に目標を設定し、研究の大まかな方向性を確認する</p> <p>(3) 問題を解決するために、いくつかの方法を発想する</p>
2-2 批判的思考力	<p>2. 以下の項目を読んで、あなたにもっともあてはまると思う選択肢を1つ選んでください。</p> <p>(1. あてはまらない 2. あまりあてはまらない 3. どちらともいえない 4. ややあてはまる 5. あてはまる)</p> <p>(1) 複雑な問題について順序立てて考えることが得意だ</p> <p>(2) 考えをまとめることが得意だ</p> <p>(3) 物事を正確に考えることに自信がある</p> <p>(4) いつも偏りのない判断をしようとする</p> <p>(5) 物事を決めるときには、客観的な態度を心がける</p> <p>(6) 一つ二つの立場だけではなく、できるだけ多くの立場から考えようとする</p> <p>(7) 結論をくだす場合には、確たる証拠の有無にこだわる</p> <p>(8) 判断をくだす際は、できるだけ多くの事実や証拠を調べる</p> <p>(9) 何事も、少しも疑わずに信じ込んではしない</p>
2-3 メタ認知	<p>3. 以下の項目を読んで、あなたが何かを学ぶ時の行動や考え方を振り返って、もっともあてはまると思う選択肢を選んでください。</p> <p>(1. 全くあてはまらない 2. あまりあてはまらない 3. ややあてはまらない 4. ややあてはまる 5. だいたいあてはまる 6. とてもよくあてはまる)</p> <p>(1) 課題が終わった時点で、自分の立てた目標の達成度を、評価している</p> <p>(2) 課題や問題が解決した後、すべての選択肢を考慮したかどうか、振り返っている</p> <p>(3) 課題が終わったら、自分が学んだことを要約している</p> <p>(6) 初めて聞く情報や知識は、自分の言葉に置きかえてみる</p> <p>(7) 課題をはじめるとき、説明をよく読み、理解してから始めている</p> <p>(8) 読んでいることが、自分の知っていることと関連していないか、考えながら読んでいる</p> <p>(10) 過去に上手くいったやり方を試みている</p> <p>(1) 自分が何が得意で何が不得手をわかっている</p> <p>(12) 重要なことに対して、意識的に注意を向けている</p>
2-4 協働する力	<p>程度同意できますか。</p> <p>(1. 全くそう思わない 2. そう思わない 3. どちらともいえない 4. そう思う 5. とてもそう思う)</p> <p>(1) たくさんの仕事でも、みんなと一緒にやれば出来る気がする。</p> <p>(2) 協同することで、優秀な人はより優秀な成績を得ることができている。</p> <p>(3) みんなで色々な意見を出し合うことは有益である。</p> <p>(4) 個性は多様な人間関係の中で磨かれていく。</p> <p>(5) グループ活動ならば、他の人の意見を聞くことができるので自分の知識も増える。</p>
2-5 表現力	<p>5. 以下の項目を読んで、あなたにもっともあてはまると思う選択肢を1つ選んでください。</p> <p>(1. あてはまらない 2. あまりあてはまらない 3. どちらともいえない 4. ややあてはまる 5. あてはまる)</p> <p>(1) 発表するときに、要点を整理して話そうとしている</p> <p>(2) 人に伝えるとき、相手が何を知りたいか考えている</p> <p>(3) 人に発表するとき、重要な部分に線を引くなどして、相手が注目するように工夫している</p> <p>(4) 声の大きさや立ち位置など相手のことを考えて工夫している</p> <p>(5) 人にわかりやすい文章を書いたり、話したりする方法を理解している</p>
2-6 情報活用能力	<p>い。</p> <p>※そういう経験がない、わからない場合は「1. あてはまらない」と回答してください。</p> <p>(1. あてはまらない 2. あまりあてはまらない 3. どちらともいえない 4. ややあてはまる 5. あてはまる)</p> <p>(1) 収集したい情報の目的に合わせて、適切な調査を計画・設計できる</p> <p>(2) 情報メディアの特性を踏まえて情報を効率的に収集できる</p> <p>(3) 収集した情報を、表やグラフを用いて整理できる</p> <p>(4) 統計指標、回帰分析、検定などを用いて情報を統計的に整理できる</p> <p>(5) 整理した情報から傾向や変化を読み取ることができる</p> <p>(6) 読み取った傾向や変化を研究の目的に応じて解釈することができる</p> <p>(7) 目的や意図に応じて情報を統合して表現し、プレゼンテーション、Webページ、SNS等による発信・交信ができる</p> <p>(8) クラウド等を用いて、情報を効率的に活用・共有できる</p>
3-1 未知への好奇心	<p>(1. まったくあてはまらない 2. あまりあてはまらない 3. どちらともいえない 4. ややあてはまる 5. とてもよくあてはまる)</p> <p>(1) 新しい事に挑戦することは好きだ</p> <p>(2) 誰もやった事のない物事にとても興味がある</p> <p>(3) どこに行っても、新しい物事や経験を探す</p> <p>(4) 今までやったことのない課題にもよるごんで取り組める</p> <p>(5) 新しいアイデアをあれこれ考える</p> <p>(6) 何事にも興味関心が強い</p>
3-2 粘り強さ	<p>(1. まったくあてはまらない 2. あまりあてはまらない 3. どちらともいえない 4. ややあてはまる 5. とてもよくあてはまる)</p> <p>(1) はっきりした明快な答えがでるまでずっと考える</p> <p>(2) 解答を理解できないと気持ちが悪く落ち着かず、なんとか理解しなければと思う</p> <p>(3) 物事を学ぶ時には、徹底的に調べたい</p> <p>(4) 予期しない出来事が起きた時、原因が分かるまで調べる</p> <p>(5) ある考えを理解するために必要な知識をすべて学ばないと満足できない</p> <p>(6) 問題を解くために長時間じっくり考える</p>
3-3 社会に開かれた姿勢	<p>9. 以下の項目を読んで、あなたにもっともあてはまると思う選択肢を1つ選んでください。</p> <p>(1. あてはまらない 2. あまりあてはまらない 3. どちらともいえない 4. ややあてはまる 5. あてはまる)</p> <p>(1) 自分の研究するテーマが社会事象とどのようにつながっているのか具体的に説明できる</p> <p>(2) 研究テーマを決める際に、自分の研究が社会の課題解決に役立つかを意識した</p> <p>(3) 研究成果の正確さや正当性を高める努力を怠らない</p> <p>(4) 学術の発展・知的好奇心の追求のためならば、どんな研究計画も許されると思う</p>

「質問項目 引用元」

2-1【仮説構築力】中村大輝, 雲財寛 (2018) 仮説設定能力の評価方法に関する基礎的研究, 科学教育研究, 42巻, 4号, p. 314-323,,

2-2【批判的思考力】平山のみ, & 楠見孝. (2004). 批判的思考態度が結論導出プロセスに及ぼす影響 証拠評価と結論生成課題を用いての検討. 教育心理学研究, 52(2), 186-198.

2-3【メタ認知】阿部 真美子・井田 政則 (2010) 成人用メタ認知尺度の作成の試み:Metacognitive Awareness Inventory を用いて、立正大学心理学研究年報, 1, 23-34

2-4【協働する力】長濱文与・安永 悟・関田 一彦・甲原 定房 (2009) 協同作業認識尺度の開発, 教育心理学研究, 57(1), 24-37.

2-5【表現力】奥木 芳明, 古田 貴久 (2005) 児童の問題解決過程における情報活用の実践力尺度の開発, 日本教育工学会論文誌, 29巻, 1号, p. 69-78

2-6【情報活用能力】文部科学省「学習の基盤となる資質・能力としての情報活用能力の育成」および「情報活用能力#東京モデル」を参考に作成。

3-1.2【未知への好奇心、粘り強さ】西川 一二, 雨宮 俊彦 (2015) 知的好奇心尺度の作成, 教育心理学研究, 63巻, 4号, p. 412-425

3-3【社会に開かれた姿勢】本校教員を中心に作成。